



使用上の注意点(Alert Notes)
Enterprise Guide(リリース1.2) ソフトウェア
Windows版

はじめに

本書では、インストールの前あるいはソフトウェアを使う上において、知っておく必要のある問題点を列挙しています。SAS システムをご使用の際の注意点については、Web サイトで参照することができます。なお、ご不明な点がございましたら、テクニカルサポートまでご連絡ください。

全般的な注意点

本書の内容を含む『使用上の注意点 (Alert Notes)』(英語) の情報の最新のものについては、以下の Web サイトで参照することができます。

<http://www.sas.com/japan/service/technical/alert/> (日本語)

<http://www.sas.com/service/techsup/> (英語)

このリリースでは、新機能に加え、以前のリリースの不具合の修正も行っています。これらの修正の一覧は、以下の Web サイトで参照することができます。

<http://www.sas.com/japan/...> (日本語)

http://www.sas.com/service/techsup/tnote/tnote_maint.html (英語)

『使用上の注意点 (Alert Notes)』(英語) の情報は、E メールによって得ることもできます。詳細に関しては、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

<http://www.sas.com/service/techsup/news/tsnews.html> (英語)

本書の中の SN-xxxxxx (xxxxxx は数字) は、使用上の注意点のための管理番号です。この番号によって、下記の Web サイトで情報を検索することができます。また、本書中エラーやメッセージは、すべて英語表記のままになっておりますのでご了承ください。

<http://www.sas.com/service/techsup/search/sasnotes.html> (英語)

Excelファイルの取り扱いにおけるエラー

SN-003501

EXCEL ファイルが正しくインポートされない

最初の 8 行以上が空白の EXCEL ファイルをインポートすると、データが正確にインポートされない場合があります。この問題を回避するには、最低でも最初の一行にデータを入力してください。

SN-00 5258

EXCEL ファイルをインポートする際、一行目のデータを変数に正しく変換できない

EXCEL データの一行目に日付が入力されていて、次の行以降のデータが日付フォーマットではない場合、一行目のデータを変数に変換できない場合があります。この問題を回避するには、データを sas7bdat 形式で保存し直し変数名やラベルなどを設定するか、インポートウィザードを使用して変数名、ラベルの設定を行ってください。

SN-003144

EXCEL 形式で保存する際、エラーが発生する

Failed to save "data_source".

Cannot update. Database or object is read-only. (3027)

EXCEL 形式で保存を行う際、保存先のフルパスが 64 文字を超えると上記のようなエラーが表示される場合があります。この問題を回避するには、短いパスに変更して保存し直してください。

SN-003314

タスクを実行する際、「Invalid Operation」エラーが発生する

EXCEL データに含まれる日付変数を使用してフォーマットを生成する際、上記のようなエラーが表示される場合があります。この問題を回避するには、EXCEL データを SAS データセットとして保存し直してください。

SN-003853

EXCEL ファイルが正しくインポートされない

EXCEL のフォーマットによっては、インポートする際に、数値の値が入っているセルが欠損値になり、正確にインポートされない場合があります。一行目のデータが数字と文字が混在している場合で、残りの行が数字のみのデータである場合などに発生します。この問題は EXCEL のファイルを

ACCESS で読み込んだ場合も発生します。この問題を回避するには、うまく読み込めない列をテキストベースのデータとして、再度作成してください。

データの読み込みにおけるエラー

SN-003518

SAS データセットを取り込む際、「Unable to open file.SAS7BDAT」エラーが発生する

SAS システムがインストールされていないローカルマシンで、SAS データセットを取り込むと、上記のようなエラーメッセージが表示される場合があります。この問題を回避するには、メニューより [ツール] [オプション] を選択し、[詳細] タブを選択して下さい。[必要に応じて SAS データセットへのアクセスに OLEDB を自動的に使用する] をチェックして下さい。

SN-005227

Sybase データを使用する際、エラーが発生する

Sybase のデータを使用する際、タスクやクエリが正確に実行されない場合があります。この問題を回避するには、Sybase ライブラリに READLOCK_TYPE=PAGE オプションを追加します。

SN-004890

インポートウィザードで 'First row contains column headings' オプションが、有効にならない

インポートウィザードでの [先頭行が列のヘッダを含む] オプションは正確に動作しない場合があります。この問題を回避するには、インポートウィザードの変数名やラベルの変更を行うウィンドウにて修正を行ってください。

SN-001415

「ERROR: File xx.xx.data is sequential. Task requires obs in random order.」エラーが発生する

ORACLE や DB2 データにアクセスをする際、以下のようなエラーが表示される場合があります。

```
ERROR: File DB2DRT.CUSTOMER.DATA is sequential. This task  
Requires reading obs in a random order, but the engine allows  
only sequential access.
```

この問題を回避するには ORACLE、DB2 のライブラリを設定する際にオプションボックスに REREAD_EXPOSURE=YES を指定して下さい。

SN-001685

タブ区切りのデータが正しくインポートされない

タブ区切りのデータは正確にインポートできない場合があります。正確にインポートできない場合、以下のどれかの方法を使用して回避して下さい。

1. [ツール] [データのインポート]を使用してインポートし、SAS データセットとして保存し直して下さい。
2. コードウィンドウで PROC IMPORT を実行してインポートして下さい。
3. タブ区切りのデータを一度.XLS 形式に保存してからインポートして下さい。

SN-002986

「ERROR: The SAS/ACCESS Interface to ORACLE cannot be loaded. The SASORA code appendage could not be loaded using Enterprise Guide.」エラーが発生する

Enterprise Guide により ORACLE データへアクセスする際、上記のようなエラーが表示される場合があります。これは、ファイルにアクセスしようとしているユーザ名が Integration Technologies のインストールされているサーバの orant¥bin ディレクトリに対する権限を持っていない場合に発生します。アクセスするユーザが、ディレクトリに対する権限を与えられているか確認して下さい。

SN-002779

データを挿入する際、SAS ライブラリにアクセスできない

データにアクセスする際、サーバー上のすべてのライブラリがアクセス可能ではない場合があります。この際、以下のようなエラーが表示される場合があります。

A library for this SAS server could not be created when the server was started. This is probably caused by an invalid library definition.

この問題は、SAS サーバに対して、無効な LIBNAME ステートメントが実行されている可能性があります。LIBNAME ステートメントを確認し、修正を行って下さい。

SN-005224

Sybase サーバにデータを保存する際に、エラーが発生する

欠損値を含むデータを Sybase サーバに保存、コピー、移動させようとするると以下のようなエラーが表示される場合があります。

Datamodel - Error: Delete current task.

SDS Common Classes - Call to component datamodel failed.

SDSDSTV - The Datamodel component could not complete the required action.

現在のところ、この問題に対する回避策はありません。

SN-003180

「Umlaut」などの特定の書体は認識できない

特定の書体 (German umlaut など) は、Enterprise Guide にインポートすることは可能でも認識することはできません。

SN-003329

ORACLE テーブルが正しく表示されない

ORACLE テーブルをスクロールすると、列が重複して表示される場合があります。一度 .sas7bdat 形式に保存をし直すか、クエリを生成して、SAS データセットかクエリをスクロールするようにしてください。

ファイルやデータセットの保存、出力におけるエラー

SN-005641

サーバリスト上でファイルの移動が行えない

An unexpected error has occurred in the following:

Component: SDS Common Classes

Error Code: 0x80004005

サーバリスト上で、ファイルのカットアンドペースト、もしくはドラッグアンドドロップを行う際、エラーが表示される場合があります。この問題が発生した場合は、[ファイル] [エクスポート]を使用してデータの移動を行ってください。

SN-003158

タスクでは OUT=オプションを設定することはできない

タスクでは OUT = オプションを設定することはできません。OUT = オプションが必要な場合は、code ウィンドウでコードを書き直していただく必要があります。デフォルトでは、アウトプットは sasuser ライブラリに書き出されますが、EGTASK ライブラリを使用して、指定のフォルダを sasuser ライブラリの代わりとして使用することもできます。

SN-005144

MDDDB ビューアを使用する際、「印刷」もしくは「印刷プレビュー」が正しく機能しない

Enterprise Guide にて MDDDB ビューアを使用している場合、印刷、もしくは印刷プレビューが正しく機能しない場合があります。これは[グラフを有効にする]オプションが選択されていない場合に多く起こります。[ツール] [オプション] [キューブ]タブで、[グラフを有効にする]にチェックを入れて下さい。

SN-004775

スタイルが表示されない

Enterprise Guide の[ツール] [オプション] [結果]タブにて[スタイル]のプルダウンメニューを開くと、特定のスタイルがメニューの中に含まれていない場合があります。これは特に PROC TEMPLATE や ODS HTML コードを使用して作成されたスタイルによく見られます。この問題を回避するには、[変更]をクリックし「ユーザ定義スタイル」ウィンドウを開き、プルダウンメニューより指定したいスタイルを選択して下さい。[OK]をクリックしてウィンドウを閉じると、スタイルリストに、指定したスタイルが追加されているのが確認できます。

SN-004773

特定の ODS HTML コードが無視される

Enterprise Guide では特定の ODS HTML コードが無視される場合があります。デフォルトで設定されている、ODS HTML コードを自動生成するオプションを解除すると、ユーザが生成した ODS HTML コードを走らせることが可能になりますが、正しい ODS HTML コードであっても、無視される場合があります。ユーザが作成したコードが新しいテンプレートを作成するようなコードである場合、この状況がよく見られます。この問題を回避するには以下の一行をコードの先頭に追加して、実行してください。

```
ODS PATH WORK.Enterprise GuideTMP(UPDATE) SASHELP.TMPLMST(READ);
```

SN-004658

データグリッドに入力したデータが保存できない

データグリッドに直接値を入力したデータを保存する場合、[ファイル] [名前をつけて保存]を選択して保存を行うと、以下のようなメッセージが現れます。

“データは書き込み保護されているか他の操作によりロックがかかっています。”

“データはリードオンリーで読み込んでください。”

[OK]をクリックすると以下のメッセージが表示されます。

「データを保存できませんでした。」

再度、[OK]をクリックすると、変数名以外のデータが失われてしまいます。この問題を回避するためには、[ファイル] [保存]を選択するか、データグリッドの端にある×をクリックして保存してください。

SN-002847

JAVA ベースのグラフを生成する際、スクリプトエラーが発生する

Enterprise Guide で JAVA ベースのグラフを生成する際、エラーが表示される場合があります。これは、主にコードウィンドウより、異なる SAS/GRAPH プロシジャを実行した場合に起こります。例えば、JAVA ベースのグラフを生成する際に、PROC GCHART や PROC GCOUNTER を実行するとスクリプトエラーが表示されます。この問題を回避するには、[ツール] [オプション] [グラフ] タブにて出力形式を ActiveX か GIF に変更してください。

SN-002836

結果を Microsoft Office 97 プロダクトに書き出すことができない

Enterprise Guide から Microsoft Office 97 プロダクトにグラフ以外の結果を書き出すにはいくつかの問題があり、多くの場合、結果は書き出されません。しかし、Microsoft Office 2000 プロダクトに対しては、改善されています。

SN-002795

ActiveX オブジェクトを Microsoft Office プロダクトで表示する際に、アプリケーションエラーが発生する

ActiveX オブジェクトを Microsoft Office プロダクトで見ると、アプリケーションエラーが発生する場合があります。ActiveX オブジェクトを Microsoft Office プロダクトに書き出すには **SN-002531** を参照してください。

SN-001832

グラフを作成する際、「Exception」や「Out of memory」エラーが発生する

ActiveX ベースのグラフを作成していると上記のようなエラーが表示される場合があります。コンピュータに搭載されているメモリの量によってはエラーメッセージが表示されるまで数分かかる場合があります。大きなデータセットよりグラフを作成している場合に、このエラーはよく表示されます。回避策として、GIF 形式や JAVA ベースのグラフを作成する、もしくはサマリーしたデータでグラフを作成することが挙げられます。

SN-005357

ActiveX ベースの棒グラフでグラフの棒がとて細く表示される

PROC GCHART で ActiveX ベースの棒グラフを表示させると、グラフの棒がとて細く表示される場合があります。これは PROC GCHART に BY ステートメントが含まれていて、BY 変数が複数の変数を指定している場合に多く発生します。これを回避するには他の出力形式 (JAVA か GIF) を使用してください。

SN-00 4025

プロジェクトを保存する際、「Failed to save document. Access Denied」エラーが表示される

Enterprise Guide でプロジェクトを保存する際に、上記のようなエラーが表示される場合があります。このエラーはユーザが保存場所に対する的確な権限を持っていないか、SAS ユーザープロフ

ファイルが壊れている時に表示されます。ユーザに権限を与えても、問題が解決しない場合は SAS ユーザープロファイルを作成し直してください。

SN-003905

グラフを作成する際、「Read Access Violation」や「Generic critical errors」が発生する

Enterprise Guide もしくは SAS/GRAPH ソフトウェアを使用してグラフを作成している時に、以下のようなエラーが表示される場合があります。

ERROR: Read Access Violation in Task [GPLOT]

ERROR: Read Access Violation in Task [Submit]

これは、ActiveX や JAVA ベースのグラフを多く作成している場合によく表示されます。この問題を回避するには、GIF 形式のグラフを生成するか、書き出すグラフの数を少なくして回避してください。

SN-001710

ActiveX ベースのグラフを作成する際、「exception」エラーが発生し、グラフが表示されない

ActiveX デバイスドライバを使用してグラフを表示させる際に、グラフが表示されなく、エラーが表示される場合があります。もし、グラフを SAS result viewer で表示させている場合、SAS セッションも終了してしまう場合があります。この問題は、PC のカラーパレットの色の数が True Color 以下の場合に起こります。これを回避するにはコントロールパネルよりカラーパレットの設定を変更してください。

日本語版 Enterprise Guide 固有のエラー

PDF 形式もしくは、RTF 形式では正しく出力できない

現在のところ、日本語版の Enterprise Guide では PDF 形式もしくは、RTF 形式での出力を行うことができません。結果の出力形式は、HTML 形式を選択するようにしてください。

ユーザ定義フォーマットにおけるエラー

SN-005342

ユーザ定義フォーマットが正しく反映されない

出力形式の作成ウィザードにて、ユーザに定義されたフォーマットを続いて編集した場合、更新されたフォーマットが正しく反映されない場合があります。これを回避するためには、一度フォーマットを永久フォーマットとして作成して、一度プロジェクトを保存し、再度立ち上げた後更新されたフォーマットを使用して再実行して下さい。

SN-005236

クエリビルダでフォーマットを適用することができない

クエリビルダで新しい算出された行を追加すると、フォーマットによっては新しい行にフォーマットがつけられない場合があります。クエリビルダではなく、データグリッドより新しい行の追加をすることで回避できます。

SN-004894

ユーザ定義フォーマットがフォーマットリストに表示されない

データグリッドのプロパティウィンドウでは、ユーザに定義されたフォーマットがフォーマットリストに表示されない場合があります。これはユーザ定義フォーマットが数値で、データのタイプが金額、日付、時間である場合に良く見られます。

クエリビルダにおけるエラー

SN-005706

「No Distinct Values Available」エラーが表示される

クエリビルダでデータにフィルタをかける際、「式ビルダ」ウィンドウにて[データ値]タブより変数を選択すると、上記のようなエラーが表示される場合があります。これは、クエリがかけられているデータが PC File Format 形式のデータである場合によく見られます。「フィルタ条件の編集」ウィンドウにて値を入力することで回避してください。

SN-003549

クエリ結果を保存する際、「Variable number 0 is not on file」エラーが発生する

クエリ結果を保存しようとする際、以下のようなエラーが表示される時があります。

Failed to save file.

Error variable number 0 is not on file.

これはクエリ結果に同じ名前の変数がいくつかある場合に良く表示されます。変数の中身が同様のものか確認をしてから、[選択と並び替え]タブにて重複している変数を取り除いて下さい。

SN-005704

「Error: File WORK.file.DATA does not exist」エラーが発生する

ローカルデータに対しクエリを実行させようとする際、以下のようなエラーが表示される場合があります。

ERROR: File WORK.file.DATA does not exist.

これは PC タイプデータ (.xls、.txt、.csv など) を使ってリモートのサーバでクエリを実行しようとする際に良く見られます。データをリモートサーバに一度コピーしてからクエリを実行することで回避できます。

SN-004818

クエリが RDBMS サーバで正確に実行されない

特定のクエリは RDBMS サーバで実行されない場合があります。この原因の一つとして、クエリを掛けられるデータの変数の長さが 18 文字以上である、そしてそのデータが Informix か DB2 であることが挙げられます。これにより、クエリが RDBMS サーバではなく SAS サーバで実行されることとなり、パフォーマンスが悪くなる結果となります。テーブル名、変数名、エイリアス名がすべて 18 文字以下である事を確認してください。

クエリが RDBMS サーバに渡されない事の原因は他にも考えられます。SN-003776 もあわせて参照してください。

SN-003875

Expression Builder ウィンドウで値がすべて表示されない

クエリビルダの Expression Builder ウィンドウでは行の値がすべて表示されない場合があります。これは特に RDBMS タイプのデータ (ORACLE、DB2 など) を使用している場合に見られます。[ツール] [オプション] を選択し、[データ] タブで [RDBMS テーブル (ORACLE、DB2 など) の総レコード数を取得する] にチェックを入れることで回避できますが、このチェックを入れることがパフォーマンスに影響してきます。

SN-001534

フォーマットが適用されている変数でクエリを実行できない

フォーマットが掛けられている変数には、クエリをうまく実行できない場合があります。値を入力する個所で、入力をするのではなく、定数から選択して回避してください。

SN-002519

変数名が空白を含む場合、クエリを正しく実行できない

Enterprise Guide のクエリビルダで変数名に一つ以上の空白があるデータを使用すると、結果として空のテーブルが出されてしまいます。

SN-001605

複数のサーバ上にあるデータについて

異なるサーバ上にあるデータをクエリビルダで結合しようとするエラーが表示されます。このような動作はサポートされていません。データを同じサーバに移してからクエリを行うようにしてください。

SN-003121

算出された変数がクエリビルダに表示されない

新しく算出された変数は、クエリビルダに表示されません(選択と並び替えタブのみに表示される)。新しい変数を使用したい場合は一度 SAS データセットに保存してから使用して下さい。

SN-003047

クエリビルダでひとつ以上の変数を使用して、LEFT JOIN、RIGHT JOIN を行うことはできない

クエリビルダでは一つ以上の変数を使用して、データを連結させることはできません。SQL コードを作成して実行させることで回避して下さい。

SN-005592

「Error: Invalid or missing READ password on member」エラーが発生する

クエリビルダで、パスワードで保護されたデータを使用しようすると、エラーが表示される場合があります。クエリコードを編集して READ=オプションを追加することで回避して下さい。

SN-004125

符号を含む変数を選択すると、構文エラーが発生する

符号を含む変数をクエリビルダで選択すると、構文エラーが生じてしまう場合があります。この問題を回避するには、選択された変数を編集して下さい。例えば、A's という変数を選択すると'A's' として表示されてしまいます。これを "A's" に書き換えて下さい。

SN-004024

結果プレビューウィンドウで、変数名が表示されない

クエリの結果プレビューウィンドウで列のヘッダーが表示されない場合があります。これは主に 570 以上の変数がある場合に起こります。

データ加工処理におけるエラー

SN-003493

データグリッドを使用する際のパフォーマンスに関する問題

Enterprise Guide でのデータの行、列のコピーは制限される、パフォーマンスが悪い、正確でないといった場合があります。通常、データグリッドを使用してコピーを行う場合、32766 列までという上限が定められていますが、上限を大幅に下回る列数であっても、遅かったり正確でなかったりという問題があります。表からではなく、クエリビルダより列などのコピーをして、これを回避して下さい。

SN-003555

列を削除する際に、Enterprise Guide がクラッシュする

一つ以上の列をデータから削除する際、Enterprise Guide がクラッシュしてしまう場合があります。これは一つ以上の列を、40 以上の列を含む DB2 や ORACLE データから削除しようとした時によく起こります。[ツール] [オプション]の[データ]タブにて[RDBMS テーブル(ORACLE、DB2 など)

の総レコード数を取得する]オプションを選択することで回避できる場合もあります。これで回避が
できなければ、一度データを SAS データセットとして保存し直して作業を行って下さい。

SN-002621

「Error: "Enterprise Guide cannot create a copy of the data source ("file_name") on the
server. Task cannot continue."」エラーが発生する

Enterprise Guide 上で 32 文字以上の変数、もしくは「\$」やクォート、スペースなどの特殊な記号
などを含むデータ使用しようとする、Enterprise Guide が固まったり、上記のようなエラーメッセ
ージを表示したりする場合があります。変数名を SAS の命名規則合ったものに編集するなどして
回避してください。場合によっては「先頭行が列のヘッダーを含む」からチェックをはずす必要もあ
ります。

SN-003042

予期していない中央値の変数が生成される

Enterprise Guide で SUMMARY STATISTICS タスクを実行すると、予期していない中央値の変
数が生成されてしまいます。これは PROC MEANS オプション、QMETHOD=P2 が設定されてい
る時に顕著に起こります。この問題を回避するには、コードウィンドウより PROC MEANS プロシ
ジャから QMETHOD オプションを除いて下さい。

SN-004623

RDBMS 形式のデータを編集する際の問題

RDMS 形式のデータを編集する際、正確に編集できないという問題が報告されています。この問
題は sas7bdat 形式のデータに保存をし直すことでのみ回避可能になっています。

クライアントサーバ環境で使用する際のエラー

SN-003494

「名前をつけて保存」はデータを正確に保存しない

[ファイル] [名前をつけて保存]は以下の条件がすべて当てはまる場合、データを正確に保存しない場合があります。

1. SAS が正しくインストールされていない。
2. ローカル SAS データにアクセスするために"Automatically use OLEDB to access SAS datasets as needed"オプションが選択されている。
3. データがリモート SAS サーバーに保存される。

データは正しく保存されたように見えますが、そのデータが 40 以上の列を持つ場合、重複したり保存されなかった列があったりする場合があります。この状況になった際に、特にエラーメッセージは表示されないので注意が必要です。

SN-003535

Windows NT Server 上で、SAS のプロセスが残ってしまう

Enterprise Guide が強制的に終了させられた場合、リモートの Windows NT Server にて SAS プロセスが永遠に実行中になってしまう場合があります。サーバ側が、Client が終了したことを判断できず、「待ち」の状態になってしまうため、このような事は起こります。この問題を回避するには、Windows NT のタスクマネージャより SAS プロセスを終了させるか、Windows NT Resource Kit を使用して SAS プロセスを終了させてください。マシンを再起動させても、プロセスを終了させることができます。

SN-004957

タスクステータスウィンドウでステータスが正しく表示されない

Enterprise Guide によって実行されたコードは、タスクステータスウィンドウでは完了されたように見えてもそのタスクにまだ実行中のステータスがある場合があります。原因としては、ERRORABEND (ENDSAS も同様) SAS システムオプションが設定されていることが挙げられま

す。この問題を回避するためには、options ステートメントより ERRORABEND を削除し、コードを保存しておいて、新しいプロジェクトに新コードを挿入して実行して下さい。

SN-003970

データを SAS リモートサーバに保存する際、「Failed to save data」エラーが発生する

ローカルマシンに SAS システムがインストールされていない環境で、SAS データセットをリモート SAS サーバに保存しようとする、上記のようなエラーが表示される場合があります。この問題を回避するためには、一度小さな EXCEL ファイルを Enterprise Guide に挿入し、それを SAS サーバに .sas7bdat 形式で保存してください。次に、.sas7bdat ファイルを挿入し、同じサーバに保存をして回避してください。この動作は続けて行う必要があります。

SN-002754

DCOM サーバに接続を行う際、「Windows 'CoCreateInstance' API failed (result 0x80080005 - Server execution failed. Code: 0x80040023)」エラーが発生する

Enterprise Client より SAS/Integration Technologies DCOM サーバにアクセスする際、以下のようなエラーが表示される場合があります。

Server process could not be started due to a COM create failure.

Windows "COCREATEINSTANCE" API failed (Result 0x80080005 - server execution failed).

これは、Windows 環境変数、もしくは UNC 名が使用できない場合に起こります。この問題を回避するには、SAS サーバの SASV8.CFG ファイル内で sasuser と saswork にフルパスを指定してください。

パフォーマンスに関する注意点

SN-005103

クエリビルダにデータを取り込むのが遅い

クエリビルダへのデータの取り込みは、データグリッドへのデータの挿入よりも時間がかかります。これは、クエリビルダがクエリを実行する前にデータを SAS データセットへコピーする必要があるためです。この現象は、アクセスしているデータが SAS データセット以外のデータで、サーバに SAS/ACCESS ソフトウェアがインストールされていない場合に顕著に表れます。

SN-003493

列のコピーが正しく機能しない

データグリッドからの列のコピーは正しく機能しない場合があります。コピーする列には、32766 列までという上限が定められていますが、データタイプによっては、これよりも少ない場合でもパフォーマンスが非常に悪い場合があります。この問題を回避するには、クエリビルダから列のコピーを行ってください。

SN-003776

クエリビルダでのパフォーマンスが悪い

クエリビルダを使ってクエリを実行した際、パフォーマンスが悪い場合があります。これはクエリビルダより生成された SQL に RDBMS サーバで認識されない関数やフォーマットが使用されているために、クエリが RDBMS 上でパススルー機能を利用して実行されずに、SAS サーバ上で実行されてしまうために起こります。この問題を回避するには、クエリビルダから実行される SQL が RDBMS で認識されるものかどうか確認して下さい。

SN-003184

データのスクロールに時間がかかる

以下の条件に当てはまるデータをスクロールしようとする、スクロールに時間がかかる場合があります。

1. 変数の length が長い
2. 数万行のデータである

3. 長さの異なる、数百の列がある
4. SAS データではない

この問題を回避するには、リストタスクを実行して生成されたリストをスクロールするか、クエリビルダを使って必要な変数だけに絞るか、また可能であれば SAS データに変換するなどの方法があります。

SN-003328

すべての変数の選択解除に時間がかかる

クエリビルダの[選択と並び替え]タブにおいて、すべての変数の選択を解除しようとするとき時間が非常にかかる場合があります。この問題を回避するには、変数を選択する SQL を作成してください。

SN-001419

UNIX サーバでのグラフの生成に時間がかかる

UNIX マシン上で SAS サーバを実行している場合グラフの生成に非常に時間がかかる場合があります。この問題を回避するには、オブジェクトスポーナの設定ファイルにおいて DISPLAY 環境変数を定義してください。

例) /sas -config sasv8.cfg -display foo.unx.sas.com:0

SN-003129

大きな DB2 のデータを開くことができない

40000 列以上の大きな DB2 データもしくはデータベースタイプのデータを開くと、マシンが固まるか、エラーが表示される場合があります。この問題を回避するには、データを SAS データセット、もしくは EXCEL ファイルとしてから開いてください。

SN-001836

SAS サーバを起動した時に autoexec.sas を実行しない

SAS サーバを起動した際に autoexec.sas ファイルを実行させるには、Administrator で[SAS サーバを起動するステートメント] にそのファイルを定義しなくてはなりません。以下の手順に従って autoexec.sas ファイルを定義してください。

1. Administrator にてサーバのプロパティウィンドウを開き、[オプション]タブを選択します。
2. [SAS サーバを起動するステートメント]に FILENAME ステートメントと%INCLUDE ステートメントを追加します。

例) FILENAME AUTOSAS 'C:¥SAS¥V8¥AUTOEXEC.SAS';
 %INCLUDE AUTOSAS;

もしくは

 %INCLUDE 'C:¥SAS¥V8¥AUTOEXEC.SAS';

必要条件に関する注意点

SN-003311

複雑な HAVING 式を自動生成できない

クエリビルダにおいて簡単な HAVING 式を生成することはできますが、「HAVING (sum(var1)) > 10」のような、複雑な式は自動生成できません。この問題を回避するには、クエリコードを編集してください。

SN-002768

出力された HTML を参照すると「メモリが足りません」というメッセージが出る

大きな HTML を参照していると「メモリが足りません」という旨のメッセージが出て、マシンがフリーズしたり、Enterprise Guide が異常終了する場合があります。この問題を回避するには、Enterprise

Guide 以外のアプリケーションを終了させるか、HTML ファイルを保存して Enterprise Guide 以外のアプリケーションで参照してください。

SN-003476

NFS-MOUNTED ドライブ上のファイルにアクセスできない

NFS-MOUNTED ドライブは、リモートサーバと判断されるため、txt、.csv、.asc、.tab のようなファイルタイプのデータへアクセスできません。この問題を回避するためには、関連付けられたドライブもしくは、ローカルドライブへデータを移して利用してください。

SN-005147

既存のプロセスフローに新しいノードを追加できない

既存のプロセスフローに新しいノードを追加することはできません。新しくプロセスフローを作成して、すべてのノードを追加してください。

SN-005101

タスクやコードを実行した際に「Error in the LIBNAME statement」というエラーがでる

タスクやコードを実行した際に以下のようなエラーが表示される場合があります。

Error: unable to clear or reassign the library because it is still in use.

Error in the libname statement.

```
libname eclib000 "";
```

この問題は、ECLIB000 のような一時的なライブラリに保存されたデータを、タスクやコードエディタで使用した場合に起こります。この問題を回避するためには、データセットを永続ライブラリに作成してください。

SN-001787

ユーザを新規に作成する際にアプリケーションエラーが起こる

Administrator で新しいユーザを作成する際に以下のようなエラーが表示される場合があります。

SEAdmin.exe - Application Error

The instruction at "0x00413362" referenced memory at "0x00000000".

The memory could not be read.

これは、以下のような手順で実行されると起こります。

1. [ファイル] [新規作成] [ユーザ]を選択します。
2. 名前とユーザ名を入力する。
3. 必要に応じて次のページのオプションを入力します。
4. グループのページで一つ以上のグループを追加します。
5. [次へ]をクリックします。

この際デフォルトのグループが正しく設定されないと、上記のようなエラーに表示されます。以下のいずれかを実行して、回避してください。

1. 一つのグループを標準グループとして設定します。そのグループは赤く表示されます。
2. 標準グループとして一つのグループだけ追加します。そのグループが自動的に標準グループに設定されます。
3. [追加]ボタンではなく、グループをダブルクリックして追加します。

オブジェクトスポーナに関する注意点

SN-004511

オブジェクトスポーナデーモンをフォアグラウンドモードで実行してしまう

オブジェクトスポーナデーモンがバックグラウンドモードで実行されている際、Enterprise Guide がオブジェクトスポーナに接続すると、そのプロセスがフォアグラウンドモードで実行されてしまう場合があります。この問題を回避するには、オブジェクトスポーナに `nohup` パラメーターをつけて開始しなければなりません。以下のような UNIX システムシェルを作成し、発行してください。

```
nohup ./utilities/bin/objspawn -configfile objspawn.cfg &
```

SN-001461

SAS サーバを起動できない

SAS サーバを起動しようとした時、オブジェクトスポーナのログに以下のようなエラーが表示され、起動できない場合があります。

```
Objspawn initialization complete
Unable to chdir, errno = 2 (No such file or directory)
obsplsas: Unable to authenticate user.
```

これは、SAS サーバを起動しようとしているユーザのホームディレクトリがない場合に起こります。ユーザのホームディレクトリがあるかどうか確認してください。

SN-002987

Windows NT 上でオブジェクトスポーナサービスを開始できない

オブジェクトスポーナを NT サービスとしてインストールしようとする、以下のようなエラーが表示される場合があります。

```
Could not start SAS Object Spawner Daemon service.
Error 2140: An internal Windows NT error occurred.
```

この問題を回避するには、インストールする際にオブジェクトスポーナをフルパスで指定してください。

例)

```
C:¥SAS> C:¥SAS¥INTTECH¥SASEXE¥OBJSPAWN.EXE -CONFIGFILE
C:¥SAS¥OBJSPAWN.CFG -INSTALL
```

SN-005130

EGTASK ライブラリにデータを保存できない

EGTASK ライブラリを作成すると、出力データセットの保存先を SASUSER から EGTASK へ変更することができます。ただし、プロジェクト内で、一つでもデフォルトの SASUSER に書き出してしまうと EGTASK ライブラリには保存されません。

SN-004907

ActiveX コントロールの保存先が間違っている

[ツール] [オプション]で表示されるオプションダイアログウィンドウのグラフタブにて、[コードベースに対して次の URL を使用]の個所で、<http://www.sas.com/misc/plugins/sasgraph.exe> となっているところを <http://www2.sas.com/codebase/cgr/v82/sasgraph.exe> に修正して下さい。

SN-003731

認証に失敗したために SAS サーバを起動できない

Enterprise Guide では以下のようなエラーが表示される場合があります。

The repository file could not be opened due to an authentication error

Enterprise Guide Administrator では以下のようなエラーが表示される場合があります。

Establish server session failed because of authorization errors.

これは、Administrator リポジトリファイルが Windows NT Client マシンのドメインと違うドメインの Windows NT サーバマシン上にある場合に表示される場合があります。COM/DCOM セキュリティモデルは両方のマシンが同じドメインであるか、信頼できるドメインか、ローカルアカウントを持つ必要があります。

SN-003128

[システムリポジトリに値を書き込む]のオプションが選択できない

サーバ上で SAS システムが立ち上がっていると、リポジトリマネージャのセットアップの際に[システムリポジトリに値を書き込む]オプションが選択できない場合があります。この問題を回避するには、他の SAS セッションを終了させてください。

SN-003127

MDDB の作成の際にエラーが表示される

MDDB を作成する際に他の SAS セッションが立ち上がっていると、

Multidimensional Data

There are no repositories on this server. You will not be able to register any MDDB created on this server. You will not be able to view this MDDB with Enterprise Guide. Please contact your SAS Administrator.

というエラーが表示される場合があります。MDDB を作成する際、または MDDB 関連の処理を実行する際は他の SAS プロセスを終了してから行ってください。

SN-002830

プロジェクトを開こうとするとエラーが表示される

既存のプロジェクトを開こうとした際に、以下のようなエラーが表示される場合があります。

Failed to open "C:¥WINNT¥Profiles¥your_id¥Personal¥your_project.seg".

これは、プロジェクトが上記の場所にあり、サーバリストより選択した場合に起こります。この問題を回避するには、右クリックで[開く]を選択するのではなく、ダブルクリックをして開いてください。

SN-002544

データグリットからデータを参照しようとする と Enterprise Guide がクラッシュする

ユーザ定義のフォーマットを使用しているデータを開こうとすると、アプリケーションエラーが表示される場合があります。ユーザ定義のフォーマットが、LIBRARY という名前のライブラリ参照名の中に、FORMAT というフォーマットカタログ名で保存されていない場合には、SAS サーバの起動時にフォーマットのサーチパスを指定してください。

```
OPTIONS FMTSEARCH=(libref.format_catalog_name);
```

SN-001820

"0x80004015 CO_E_WRONG_SERVER_IDENTITY. This class is configured to run as a security id different from the caller."

DCOM サーバへアクセスする際、上記のようなエラーが表示される場合があります。このエラーは dcomcfg の問題で、リポジトリサーバを実行しているドメインユーザと同じ名前を持つローカルマシンが存在する場合に起こります。この問題を回避するには、以下のいずれかを実行してください。

1. リポジトリプロセスを実行するための新しいユーザ名アカウントを作成する。
2. ドメインユーザに「バッチジョブとしてログオン」の権限を与えてください。

詳細は、『Administrator ユーザーズガイド』の「リポジトリプロセスの共有」を参照してください。

SN-001474

SAS IOM サーバを登録できない

SAS システムのインストールが Windows NT 上でなされた時、SAS IOM サーバが登録されない場合があります。クライアントが SAS IOM サーバを起動しようとする と、接続が失敗し、以下のような Class Registration エラーが表示されます。

```
Windows CoCreateInstance API failed (result 0x80040154 - Class not registered), or CoGetClassObject failed. Class not registered  
REGDB_E_CLASSNOTREG($80040154) errors may be encountered.
```

SAS IOM サーバを登録するには以下の手順に従ってください。

1. SAS システムのメディアもしくは、SAS システムのネットワークコピー上にある!SASROOT¥CORE¥SASEXE からクライアント上の!SASROOT¥CORE¥SASEXE ディレクトリに SASVRSRV.DLL をコピーしてください。
2. コマンドプロンプトから!SASROOT¥SAS.EXE /regserver を実行してください。

SN-004223

インストール時に「The file 'oleaut32.dll' is out of date」というエラーがでる

Enterprise Guide をインストールしようとするとき以下のようなエラーが表示される場合があります。

```
ERROR: The file 'oleaut32.dll' is out of date. This program requires a newer version.
```

これは Windows95 や Windows98 などのシステムの場合に多く見られます。この問題を回避するには、Enterprise Guide system Requirements Wizard を実行して必要なファイルの更新を行ってからインストールを行ってください。

SN-005390

UNIX のファイルの権限が無視される

Enterprise Guide より参照されているファイルは、UNIX のファイルに対する権限に関わらず、削除できます。SAS Integration Technologies はオペレーティングシステムの Deletefile メソッドを使用してファイルの削除を行います。Deletefile()メソッドは wxdelet()に変換され、UNIX のホスト上で wxdelet()は unlink()を使用してファイルの削除を行います。Unlink()はファイルの権限を無視し、ディレクトリの権限のみを参照します。この問題を回避するには、ファイルにディレクトリの権限を与えてください。

使用上の注意点 (Alert Notes)

Enterprise Guide (リリース 1.2) Windows 版

2001 年 9 月 25 日 初版第 1 刷発行

発行元 株式会社 SAS インスティテュートジャパン

〒104-0054 東京都中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カチドキ 8F

電話 03 (3533) 3760

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SAS テクニカルサポート

TEL : 03 (3533) 3877

FAX : 03 (3533) 3781

E-Mail : support@jpn.sas.com